

鯖江市総合戦略 体系図

基本目標 青字:目標達成に向かっている 黄字:改善しているがぶび度が遅い 赤字:後退している	基本施策	KPI(主な重要業績評価指数)	単位	現行戦略の現状値	現行戦略の目標値	実績値 青字:目標達成見込み 黄字:改善しているが遅い 赤字:後退している	新たな目標値(R6年度)	実施施策	主要な事業
魅力ある雇用の創出	眼鏡のチタン加工技術を活かした新産業の創造	・成長分野の技術開発、海外販路開拓件数	件(累計)	3 (H26年度)	18 (R1年度)	27 (H30年度)	40 (R6年度)	・企業の経営基盤強化 ・創業等の支援	・制度融資事業(中小企業振興資金、小規模企業者特別資金、開業支援資金など) ・創業・第2創業、異分野進出事業 ・新産業創造支援事業 (メディカルバレー創出支援事業) (鯖江発ウエアラブル端末開発支援事業) ・UIターン者創業支援事業
	既存産業の高度化	・販路開拓、企業マッチング等事業採択数 ・AI・IoT等導入支援事業採択数 ・新たな自社ブランド創出事業採択数	件(累計) 件(累計) 件(累計)	54 (H26年度までの5ヵ年)	114 (R1年度までの10ヵ年)	104 (H30年度までの9ヵ年)	175 (R6年度までの15ヵ年) 5 (R6年度) 5 (R6年度)	・地域産業の活性化 ・(再掲)企業の経営基盤強化	・販路開拓、企業マッチング事業 ・産学官連携推進事業 ・福井高専への眼鏡工学科(仮称)設置の検討 ・メガネメッセの開催 ・伝統産業とITを生かした地方創生事業 ・漆の最先端技術活用支援事業 ・伝統的工芸品月間国民会議全国大会開催事業 ・繊維産業の川上から川下までの産業集積を活かした新商品開発事業 ・AI・IoT等導入支援事業 ・新たな自社ブランド創出事業 ・農商工連携事業 ・さばえの野菜づくり支援事業 ・「さばえ野菜」産地育成支援事業 ・さばえ菜花米づくり支援事業 ・さばえブランド菜花米支援事業 ・スマート農業の促進 ・(再掲)制度融資事業(中小企業振興資金、小規模企業者特別資金、開業支援資金など)
	若者に魅力ある働く場の確保	・企業立地交付決定件数 ・サテライトオフィス誘致件数 ・若者(～30代)が働きやすい環境が充実していると感じる人の割合	件(累計) 件(累計) %	8 (H26年度までの5ヵ年) 3 (H29年度) 54.8 (H24年度)	18 (R1年度) 5 (R1年度) 60 (R1年度)	21 (H30年度までの9ヵ年) 5 (H30年度) 75.0 (H30年度)	31 (R6年度) 8 (R6年度) 80.0 (R6年度)	・企業立地の推進 ・若者の就労機会の確保 ・(再掲)創業等の支援	・工場立地助成事業 ・IT企業の誘致 ・サテライトオフィス誘致事業 ・U・Iターン移住就職等支援事業 ・大学連携によるインターンシップ事業 ・ハローワーク武生との雇用対策協定に基づく支援事業 ・(再掲)創業・第2創業、異分野進出事業 ・(再掲)UIターン者創業支援事業 ・空き家再生等推進事業
	女性が輝くまちの創造	・女性就業率 ・共働き世帯率 ・女性起業家数 ・職場において男女の扱いが平等であると感じている人の割合 ・女性活躍推進事業採択数 ・審議会等における女性登用率	% % 人(累計) % 件(累計) %	52.5 (H22年度) 58.7 (H22年度) 2 (H26年度) 28.1 (H26年度) +F6 件(累計) %	55.5 (R2年度) 63 (R2年度) 12 (R1年度) 40 (R1年度)	55.1 (H27年度) 62.5 (H27年度) 20 (H30年度) 27.0 (H30年度) 32.1(H30年度)	57.5 (R7年度) 65.8 (R7年度) 32 (R6年度) 27.0 (H30年度) 32.1(H30年度)	57.5 (R7年度) 65.8 (R7年度) 32 (R6年度) 別の計画で今年度設定 18 (R6年度) 別の計画で今年度設定	・(再掲)創業・第2創業、異分野進出事業 ・(再掲)UIターン者創業支援事業 ・女性の活躍顕彰事業 ・ジェンダー平等、女性のエンパワーメントおよび再チャレンジ支援事業 ・女性活躍プラットフォーム事業 ・わたしの日プロジェクト ・ワーク・ライフ・バランス推進事業 ・中小企業の子育て・介護応援事業 ・女性活躍推進事業
	楽しくてもうかる農業経営の確立	・新規就農者数 ・農地維持活動実施面積 ・持続性のある農業が確立されていると感じている人の割合	人(累計) % %	9 (H26年度までの5ヵ年) 83.8 (H26年度) 76.9 (H24年度)	21 (R1年度までの9ヵ年) 88 (R1年度) 80 (R1年度)	15 (H30年度までの8ヵ年) 89.0 (H30年度) 78.6 (H30年度)	21 (R6年度) 90.0 (R6年度) 82 (R6年度)	・農業の担い手づくり ・6次産業化の支援 ・農業、農村の多面的機能の維持、発揮 ・農業基盤の整備促進 ・人と生き物の共生の推進	・Nextファーマー育成事業 ・農地中間管理事業 ・農業の6次産業化応援事業 ・地域経済循環創造事業 ・水田園芸産地育成促進事業 ・(再掲)スマート農業の促進 ・多面的機能支払交付金事業 ・農業基盤整備促進事業 ・鳥獣害のない里づくりマスタープラン推進事業

鯖江市総合戦略 体系図

基本目標 青字:目標達成に向かっている 黄字:改善しているがぶび度が遅い 赤字:後退している	基本施策	策定方針(強化すべき内容)	推進委員の意見	男女共同参画NWの意見	市民協働推進会議	商工会議所青年部	鯖江地区商店街連合会役員会
魅力ある雇用の創出	眼鏡のチタン加工技術を活かした新産業の創造						
	既存産業の高度化		・既存産業の技術とITの融合により、生産性が高く、 所得が上がる仕事を創出(KPIIにも加える) ・デザイン力、企画力、技術力、短納期など、ハイテクと伝統を追求する ・優秀なデザイナーがいるので、 デザイン施策を打ち、鯖江コレクションを作る ・官民が連携した販路開拓を ・中小企業には高い技術力や素晴らしいビジョンを持つところが多いのでPRすれば大都市からも注目される			・市民が鯖江ブランドを知らない、 眼鏡が買いうらい、買うところがない、来訪者が魅力に感じる眼鏡づくり体験等 ができるところない、眼鏡ならここというところがない、知らない、工場見学ができると なお良い (品質の高さがわかってもらえる)などの課題がある。 →飲食店などに紹介パンフを置いてもらう ・住みながら仕事を探すのは大変なので、 職人を養成する専門学校 を作ってはどうか。即戦力となる人材を育てることで、地元企業は助かるし、学生としても、鯖江をよく知った上で就職し住むことになるのでよいのではないかな。	・県外に行くと、眼鏡の産地としての鯖江は大変良く知られている。市長のブランディングは素晴らしい。
	若者に魅力ある働く場の確保	・若者に魅力ある働く場の確保の強化 ・若者の働きやすい環境づくりの強化	・廃業を抑制するため、 後継者のない企業と、都市部の事業を行いたい人材のマッチング を ・ 経済的ブランディング を出していく ・女性のUターンの増には、サテライトオフィスを増やすことが必要	・親が子にUターンを進めても、職がないと言われればどうしようもない。 ・平均寿命、健康寿命が延びる中、 高齢者のワークシェアを考え、若者の働きすぎの解消 を図ることが必要。介護分野などきつくて人材が不足しているところでワークシェアすれば若者が助かるし、高齢者の元気にもつながる。	・若者が わくわく しているかが大事。 ・高専から地元で就職させるとか現実的なことをしないとイケない。 ・大企業が鯖江にあるとより良い。 ・今の若者はシビアで、個人主義で、 収入の面や楽しい仕事ができるかを重視 する。 ・若者は、基本的にお金がない。 稼げる市 になってほしい。	・ どういう仕事を求めているかをきちんと把握 して求人することが必要。	
	女性が輝くまちの創造	・仕事と子育てを両立できる環境づくりの強化 ・家庭や地域生活等の私生活を充実できるよう多様な働き方の推進の強化	・女性や教員が 幸せと感じているか を指標にする ・女性が活躍すると家庭が崩壊するとも言われる。 ・福井の女性は働く意欲は高いが、キャリア意識が高くない ・仕事と子育てを両立しながら無理なく自己実現できるとよい		・若い女性は働く意欲があるので、 毎日働くのは辛い年寄り が労働をシェアすると 働きやすい のではないかな。 ・女性と男性の目線は違う。女性に任せてほしい。共働きが多く女性は活躍しているが輝いていない。女性は前に出られない。 ・女性も活躍できる場をもっと提供しながら子育ても出来るとよい。		
	楽しくてもうかる農業経営の確立		・楽しい農業でなければ続かない ・収入増に向け、 作物を売れる組織を作る	・自然栽培に対する若者の関心は高い。嶺南では、従事者育成の取組みにより、都会から2桁くらいの若者が従事しているし、レストランには東京や大阪から客が来ている。講演にも多くの人が集まる。温暖化対策や人口問題に貢献すると思う。			

鯖江市総合戦略 体系図

	策定方針(強化すべき内容)	推進委員の意見	男女共同参画NWの意見	市民協働推進会議	商工会議所青年部	鯖江地区商店街連合会役員会
その他全体に関わる内容	・女性のエンパワースメントを地域のエンパワースメントに ・【国の新たな視点】SDGsを原動力とした地方創生 ・【国の新たな視点】女性、高齢者、障がい者など誰もが活躍できる社会 ・【国の新たな視点】Society5.0の実現に向けた技術の活用	・多様性を認める。人権を尊重する ・弱者(障がい者。外国人)も住みやすい移動手段や教育を担保 ・未婚の中年男性、外国人の女性が抵抗なく地域行事に参加できる環境 ・魅力あるまちであるためには、鯖江のようにデメリットを恐れず尖った事業を開拓することが必要 ・女性の活躍、後継者問題、若者の東京集中に対して、多様性を認め、寛容になりつつ鯖江らしさを作っていく	・市の施策についてPRが足りず、市民の理解が不十分。	・福井と武生をつなぐハブ的な自治体になれば福井県全体が盛り上がるし、嶺北視点で動けばもっといろんなことができると思う。 ・フォアキャストでなくバックキャストで作成した計画をいかに作るか。 ・あまり高い目標を置くのではなく、人口が減ることを受け止めた上で、それでも住みやすい鯖江をいかに目指していくかの方が良い。 ・計画を立てても実行する人がいないと意味がない。		・地元の人が喜ぶ、便利な、幸せなまちであることが一番である。